学校番号	3020B

平成３１年度　　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次(前期)
使用教科書	「書道Ⅱ」（東京書籍）						
副教材等	最新ペン習字教範（日本書写教育研究会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高等学校芸術科書道Ⅱでは，書写・書道で学んだ力をさらに発展させます。幅広い書表現の技能を高め，鑑賞の能力を伸ばし，生涯にわたり書に親しむ心を育てていきます。

さまざまな書の美や伝統に触れ，臨書体験・作品制作・鑑賞等を通して，感性を豊かにしていきましょう。そして，自分の個性を生かした創造的な表現を楽しく展開しましょう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし，書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって，主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し，感性を働かせながら，自らの意図に基づいて構想し，表現を工夫している。	創造的な書表現をするために，書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え，書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

４　学習の活動

学期	題材名	学習活動・内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	仮名の書	・仮名の筆使い，連綿 ・全体の構成 （行書き，散らし書き） ・短冊，色紙，作品制作		○	○		a．学習してきた仮名古典を背景に，仮名作品の制作に意欲的・積極的に取り組んでいる。 b．さまざまな仮名古典の特徴を理解し，美や，美を構成する背景を感受しながら感性を磨き，創造性豊かな表現の工夫をしている。 c．歴史的にも多種多様な美をもつ仮名古典の表現技法を身に付けている。 d．自己作品，他者作品（創作参考作品）を鑑賞して，それぞれの表現方法を捉えている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
	漢字の書	・篆書 （小篆，石鼓文等） （篆書の成立と特徴， 書体の編成） （四文字作品制作,表具）	○	○		○	a．篆書が成立した時代背景について理解し，興味・関心を深めている。 b．古典の比較を通して篆書の美を感受し，表現を工夫している。 c．篆書の字形や全体の構成の仕方を身に付けている。 d．さまざまな篆書の美やよさを感じ取っている	観察 レポート ワークシート 提出作品
	篆刻	・名前印の制作 （篆書，石の印材， 二文字以上）	○	○			a．篆刻の刻法を学び，基礎・基本の刀法や表現技法を主体的に身に付けようとしている。 b．篆刻の表現分野を理解し，美や，美を構成する背景を感受しながら感性を豊かにしている。 c．篆刻の表現をするための刀法を身に付け，自己の表現活動に発展させている。 d．篆刻の造形美や刻刀が奏でる立体美を感じ取っている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
	漢字の書	・隷書 （四文字作品制作， 画仙紙１／８）	○	○	○		a．多様な隷書表現を理解して，いろいろな表現技法を習得できるよう，主体性をもって意欲的に取り組んでいる。 b．創造性豊かに，隷書表現の工夫をしている。 c．隷書のさまざまな表現技法を身に付け，自己の表現活動に発展させている。 d．隷書の古典の造形美や時代が要求した書体の特徴などを理解し，書と文字と文化について幅広く考えている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。